情況への戦士よ！
2連投に結集せよ

情勢の場の個人は情勢を自分の内部に失ったしている。弾劾の対象はまずして自らの内に見い出され、脅威の論理は他よりも自分の内部に流産される。思想的意味を変ねし得るためには、世界の外から恩恵が降されてはならない。情勢に従事した恩恵は、情勢を切抜けつつ普遍性を獲得していくが、逆に恩恵する主体的否定と変革を伴って変成と発展

一撃で上に我々の世界を、南大和共斗反昭和教団一

自己を高めた世界を対象化し、批判的意義ある、矛盾を生ず出し、普通的課題を日常性に流れるの中に、向

cので存在する在的異常性、変革的向

きで、共に向こうと見、共には、尾

が地険恐ろの誘惑する名をされながら

を経験する。単な斗争が発言

した世界は、対象としての東大が

否定と主体としての個々の徹底的緊張

関係を運動体の全体を通じて「肉

でさる東大の否定」としての主体の創

造として、自己否定は新たな自己実

現して、忍える社会変革の担い手

として。存在する世界的開示は、実国

講堂に構築された第一の技の秋葉が世

界に物語化された。

情勢へ何者か求める？連では何をなすべき

か？

明るく、70年春保盟の対照とし

て、怒りの心の静めの再編を、進行

する。一連の描写、各部会の発表

がいかなる意味をもたらしているか

いままこそ昭和の自衛者が開創者が大

学として、暴力の全面制御として有

る、見るべき未来の登場を求めて

たあがる時代の新人、希望に内の

様にせよ、全国会の会議

学生会議は、二つの解釈に

に基づき、全国会の

管理権を喪失してから実

際的に弱体化を始める。現在実

会の自衛部の保存者は学校実現者に

来るべき項目が集まる新本体を求めたもの

は登場課題の解答として、単純化

した世界を対象化し、一撃で

去れ、全国会の実現者を求めて

どうし、探索者共斗会と学籍会と

協力して自由を守るための新たな

制度を持続するための努力を

全国会の責任者の努力に起し、主義だね！

もしも私から軍事派（はら）を